

# 文化・芸術の功績を表彰

## 平成18年度 鳥取市文化賞

11月3日（金）、市の文化・芸術の振興に功績のあった人をたたえる「鳥取市文化賞」の贈呈式が仁風閣で行われました。今年度は郷土史の中林保さん、能（謡曲）の田中宏さん、そして民踊の梅津洋子さんの3人が受賞されましたのでご紹介します。



## 受賞者紹介

### 中林 保さん

なかばやし たもつ・73歳  
気高町勝見  
[郷土史]



#### 業績

長年にわたり、古代・中世・近世における因幡、伯耆の郷土史を研究され、特に歴史地理学の面で優れた業績をあげられており、『日本歴史地理総説』古代編（古川弘文館）など共著が多数あるほか、『歴史地理紀要』などにも論文を発表されています。

また、『鳥取県史』、『新修鳥取市史』などに執筆されるなど、その成果は、平成9年（1997）年刊行の大著『因幡・伯耆の町と街道』として結実、交通史（水上、陸上、街道）や中世・近世の城郭研究など、郷土史理解に多大なる業績を残されています。



### 田中 宏さん

たなかひろし・72歳  
西町一丁目  
[能（謡曲）]



#### 業績

昭和39（1964）年の観世流入門以来、40年の長きにわたり能楽活動を続けられ、その間、昭和49（1974）年には、「鳥取青嵐会」<sup>かんげりゆう</sup>、「鳥取馬野青諷会」<sup>うまのせいふう</sup>と合同し、「鳥取観世流連合会」の結成に尽力されました。以来、連合会として毎年鳥取市文化祭に参加し、伝統芸能の奥深い魅力を伝えるとともに、平成13（2001）年からは、喜多・宝生も合わせた謡曲三流をまとめる鳥取県謡曲連合会の会長として、普及と研鑽に努めておられます。

また、その一方で多くの能楽舞台でシテをつとめられるなど、現役能楽士としての活動も続けておられます。



### 梅津 洋子さん

うめづようこ・72歳  
鹿野町今市  
[民踊]



#### 業績

今日まで県内を中心に各種催事や事業における民謡・音頭の選曲、振り付け・指導を行い、その普及振興にあたられるなど、幅広い経験に基づく卓越した指導力と実績が高く評価されています。

その間、昭和45（1970）年には、鳥取県民踊指導者連盟設立に関わり、初代会長に就任するとともに、全日本民踊指導者連盟常任幹事など要職を歴任、さらに、平成16（2004）年からは、鳥取県文化団体連合会会長として活躍、民舞・民踊を通じた国際親善にも尽力され活動の舞台を拡げられています。

